



# IQMの導入時の測定の手順



# 本資料の目的

- 本ドキュメントはIQMの導入に際して、必要な以下の測定の手順について説明した資料です。

**1. DOCF: Dose Output Correction Factor**

**2. High resolution QA Field**

**3. AOF: Area-output factor**

# DOCF: Dose Output Correction Factor

## • 概要

- DOCF: Dose Output Correction Factorとは、リニアック出力の日々の変動を考慮するために測定値に適用される補正係数です。
- この測定ではIQMのシグナルと絶対線量を紐づけるために、基準となるDOCFを測定します。

## • 内容 :

- A) 水中における絶対線量（MU校正時と同じ条件）を測定します。
- B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

**A)と B)はかならず同日に測定してください！**

# DOCF: Dose Output Correction Factor

- A)水中における絶対線量（MU校正時と同じ条件）を測定します。

1. 線量校正時と同じ条件における水中の100MU当たりの絶対線量（照射野サイズ: 10 cm x 10 cm）

- ✓ IQMをリニアックから取り外して測定します。

- ✓ 基準深（線量最大深）の100MUあたりの線量を下記のExcelに記録してください。

\* ご施設でリニアックの線量校正を実施後、測定してください。 \*

IQM測定チェックシート

	A	B	C	D	E	F	G
1	測定日:	2024/5/13					
2	測定者:	エレクタ					
3							
4							
5							
6							
7	A) 基準深（線量最大深）の100MUあたりの線量						
8		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF	
9	Gy / 100MU						
10							
11	B) 基準条件におけるIQMのシグナル値						
12		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF	
13	Quick beam, 20x20, 200MU						
14	Quick beam, 20x20, 200MU						
15	Quick beam, 20x20, 200MU						
16							

IQMをリニアックから取り外して測定します。  
正しく校正できていれば、1.0 Gy / 100MU付近の数字になります。  
\* ご施設でリニアックの線量校正を実施後、測定

記入してください。

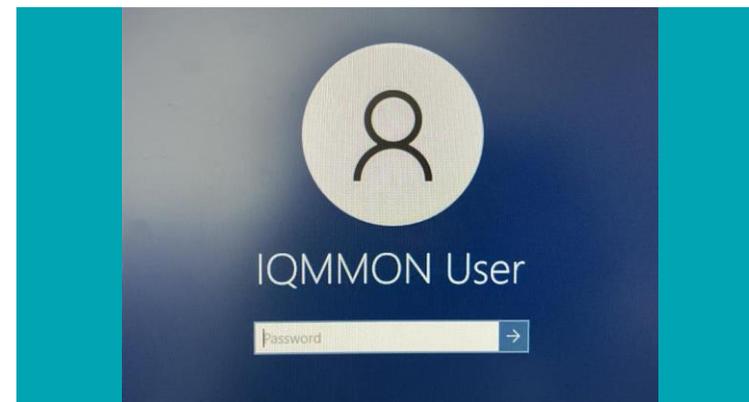
# DOCF: Dose Output Correction Factor

## • B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

### 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ IQMのワークステーションを立ち上げ、ログインします。

\* 不明な場合は担当にエンジニアにご連絡ください。



- ✓ IQM検出器の電源をONにして、**リニアックに取り付けてください。**



# DOCF: Dose Output Correction Factor

- **B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。**

- 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ 後方散乱の影響を避けるため、カウチを一番後ろまで引き、カウチの上に何も乗せないでください。
    - ✓ ガントリー、コリメータが0度であることを確認してください
    - ✓ ウォームアップのため、使用するエネルギー毎に500MUを照射してください
      - リニアックとIQMの両方をウォームアップする目的です。

# DOCF: Dose Output Correction Factor

- B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

## 2. 基準条件におけるIQMのシグナル値の測定

- ✓ IQMワークステーションのデスクトップにある下記アイコンをクリックして、IQM Monitor Applicationを立ち上げてください。

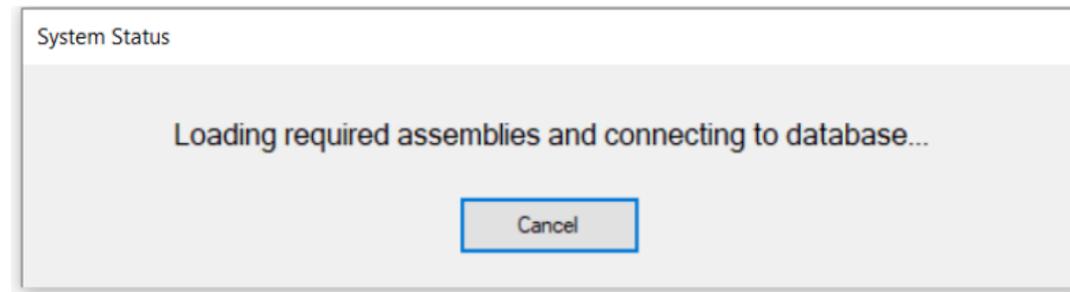


# DOCF: Dose Output Correction Factor

- B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

## 2. 基準条件におけるIQMのシグナル値の測定

- ✓ 起動時に、IQMデータベースへの接続が確立されます。

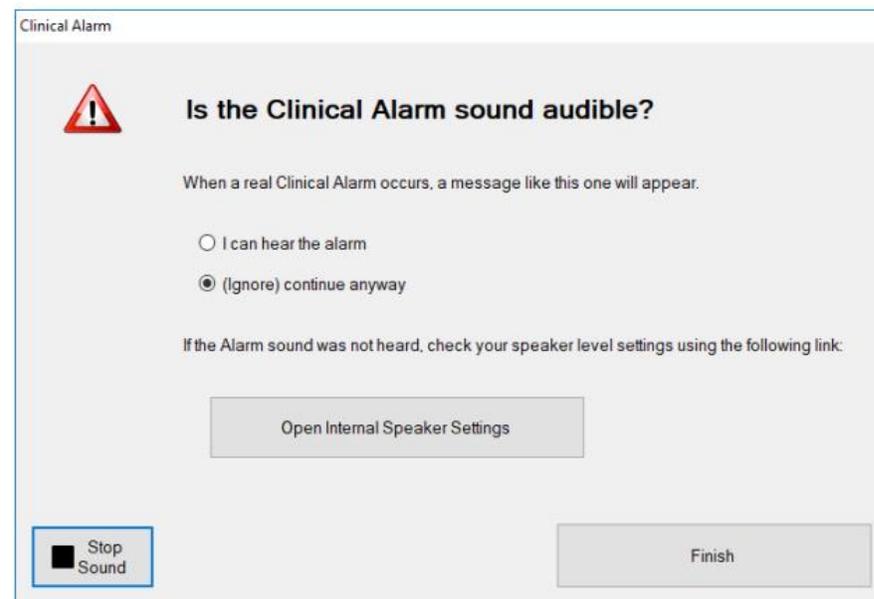
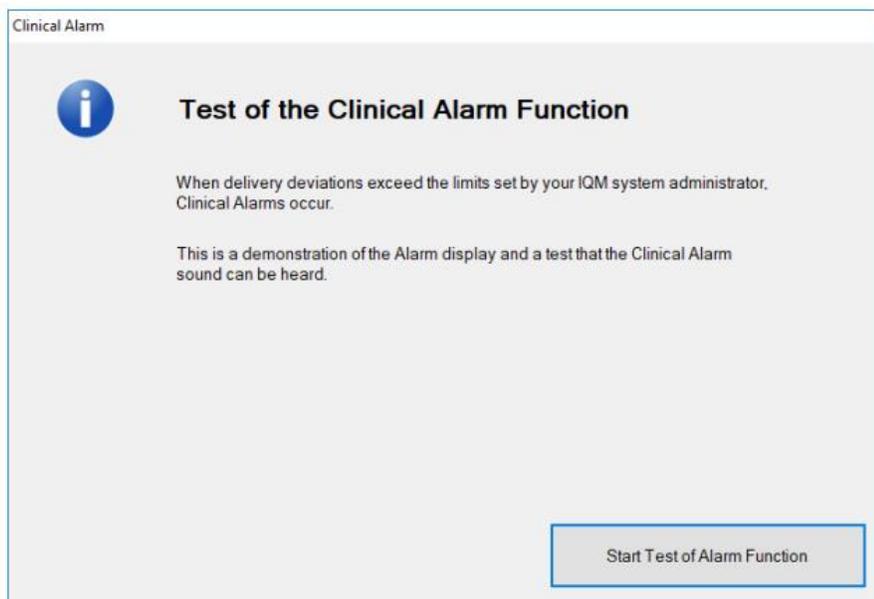


# DOCF: Dose Output Correction Factor

- B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

## 2. 基準条件におけるIQMのシグナル値の測定

- ✓ データベース接続に成功したら、'Start Test of Alarm Function' ボタンをクリックし、表示される指示に従ってクリニカルアラームテストを完了します。



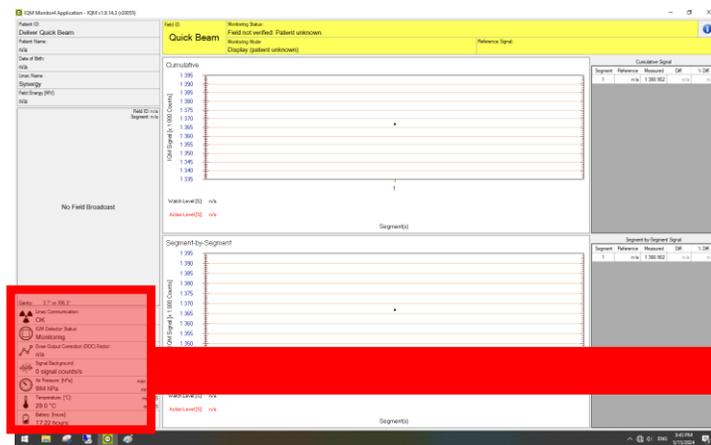
# DOCF: Dose Output Correction Factor

## • B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

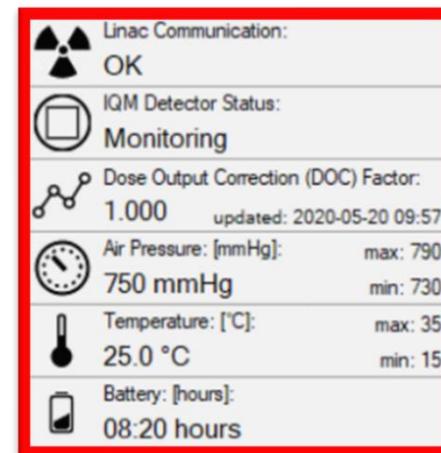
### 2. 基準条件におけるIQMのシグナル値の測定

- ✓ IQM Detector と治療機へのネットワーク接続が自動的に確立されます。
- ✓ IQM Monitor アプリケーションの表示で、ステータスインジケータに黄色またはオレンジ色にハイライトされた項目がないことを確認します。
- ✓ 右図のように、ステータスが色で強調表示されていない場合、すべての接続は準備 完了です。

### IQM Monitor Application



### ステータスインジケータ



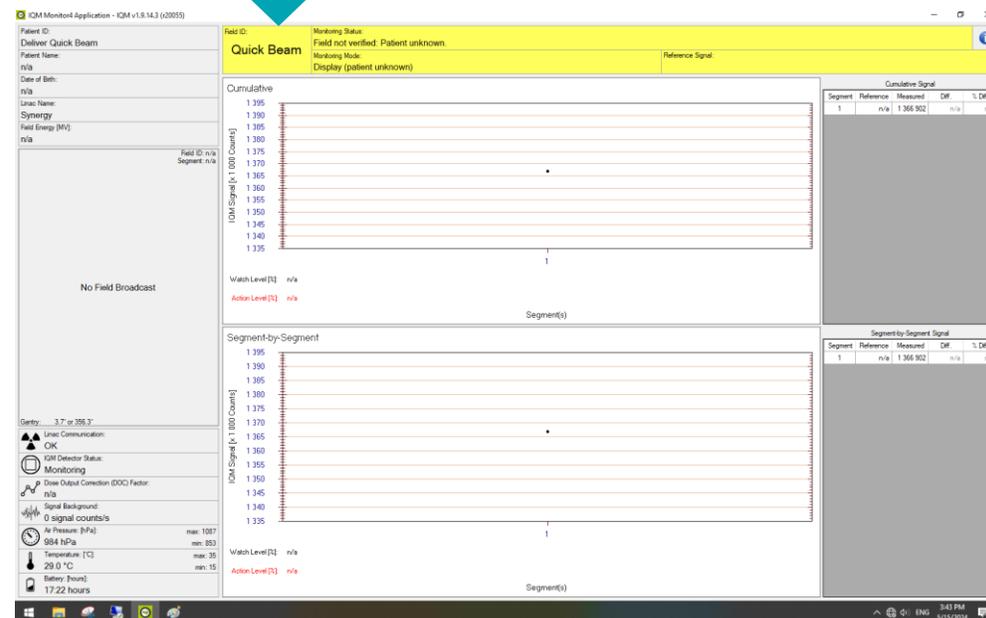
# DOCF: Dose Output Correction Factor

## • B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

### 2. 基準条件におけるIQMのシグナル値の測定

- ✓ Integrityのサービスモードにログインし、**Quick beamにて200MU, 照射野サイズ:20x20cm** を照射する準備をしてください。
- ✓ ガントリー、コリメータが0度であることを確認してください。
- ✓ IQM Monitor Applicationにて、右図のように、**Field ID: Quick Beam**が表示されていることを確認してください。
- ✓ 測定をエネルギー毎に3回繰り返してください。

Field ID: Quick Beamが表示される



# DOCF: Dose Output Correction Factor

- B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

## 3. 測定結果の確認

- ✓ 測定されたIQMのシグナル値は以下の.csvファイルを確認してください。

ファイルパス : C:\¥IQM\_Data¥Logs¥IQM.Monitor.MachineName.DetectorSN.YYYYMMDD

\*測定日毎に上記csvファイルが作成されます。

\*MachineNameとDetectorSNは施設毎に異なります。

例 : IQM.Monitor.Versa.999999.20240101

Machine name

Detector SN

測定日



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	Date	Patient	Field	Segments	Expected	Measured		
2	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1714648	
3	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1714536	
4	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1716170	
5	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1716986	
6	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1716986	
7	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1770964	}
8	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1769800	
9	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1772343	
10	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1796697	}
11	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1797728	
12	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1798183	
13	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1244981	}
14	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1245573	
15	20230930	Deliver Quick	Quick Bea	1			1244558	

測定条件:  
200MU, 20x20

例 :

6MVの測定結果

10MVの測定結果

6FFFの測定結果

# DOCF: Dose Output Correction Factor

- B) 基準条件におけるIQMのシグナル値を測定します。

## 3. 測定結果の確認

- ✓ Csvファイルに記録されたIQMのシグナル値を下記のExcelに記録してください。

### IQM測定チェックシート

	A	B	C	D	E	F	G
1	測定日：	2024/5/13					
2	測定者：	エレクタ					
3							
4							
5							
6							
7	A) 基準深（線量最大深）の100MUあたりの線量						
8		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF	
9	Gy / 100MU						
10							
11	B) 基準条件におけるIQMのシグナル値						
12		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF	
13	Quick beam, 20x20, 200MU						
14	Quick beam, 20x20, 200MU						
15	Quick beam, 20x20, 200MU						
16							

IQMをリニアックから取り外して測定します。  
正しく校正できていれば、1.0 Gy / 100MU付近の数字になります。  
\*ご施設でリニアックの線量校正を実施後、測定

記入してください。

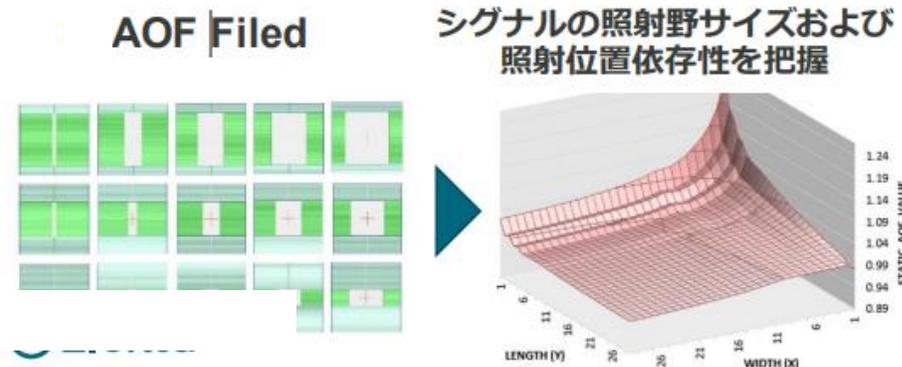
# AOF: Area-output factor

## 概要

- JawおよびMLCによって成形された一連の正方形および長方形照射野のIQM検出器の測定値を取得します。
- Static IMRTとDynamic IMRTのそれぞれを測定する必要があります。
  - \*ただし、臨床で使用しない照射方法については測定不要です。

## 内容：

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

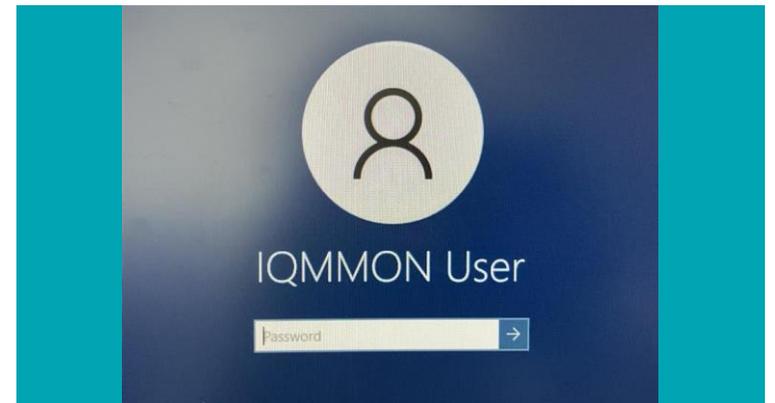


# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ IQMのワークステーションを立ち上げ、ログインしてください。  
\* ユーザ名/パスワードが不明な場合は担当にエンジニアにご連絡ください。



- ✓ IQM検出器の電源をONにして、**リニアックに取り付けてください。**



# AOF: Area-output factor

- **MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。**

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ 後方散乱の影響を避けるため、カウチを一番後ろまで引き、カウチの上に何も乗せないでください。
- ✓ ガントリー、コリメータが0度であることを確認してください
- ✓ ウォームアップのため、使用するエネルギー毎に500MUを照射してください
  - リニアックとIQMの両方をウォームアップする目的です。

# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ IQMワークステーションのデスクトップにある下記アイコンをクリックして、IQM Monitor Applicationを立ち上げてください。

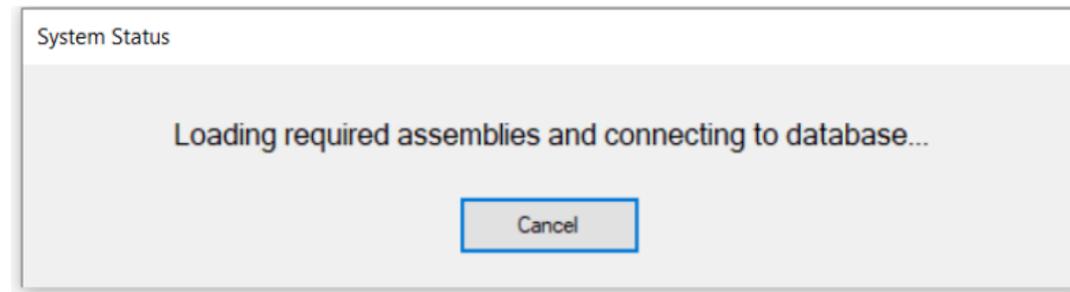


# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ 起動時に、IQMデータベースへの接続が確立されます。

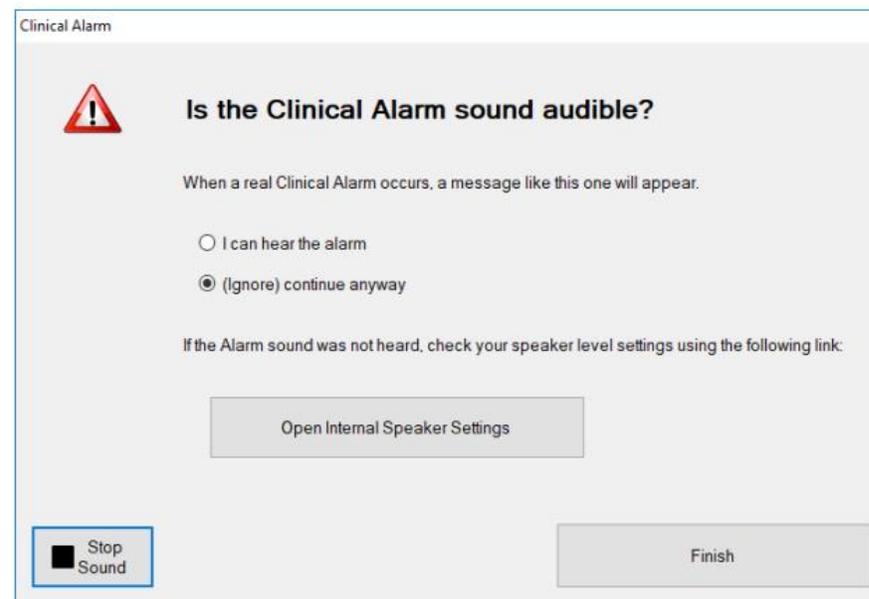
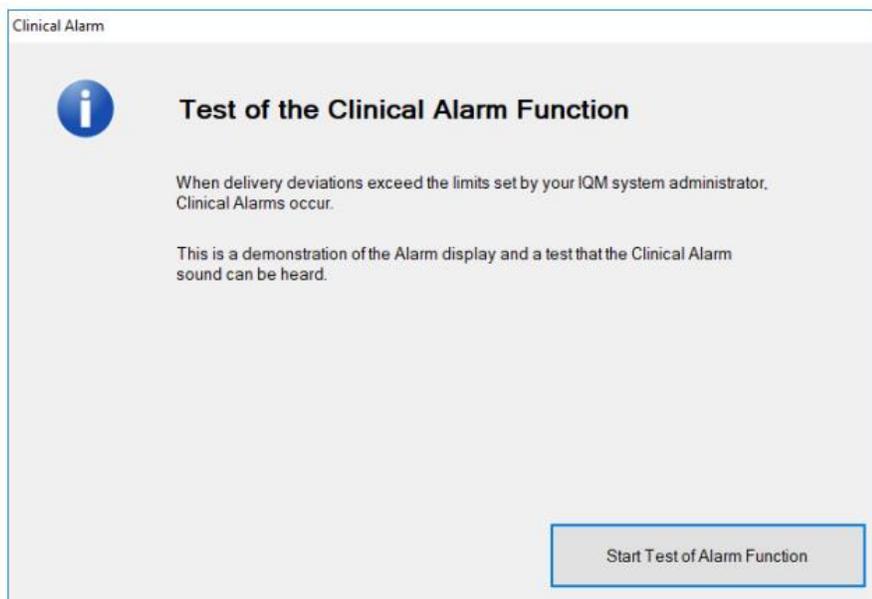


# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ データベース接続に成功したら、'Start Test of Alarm Function' ボタンをクリックし、表示される指示に従ってクリニカルアラームテストを完了します。



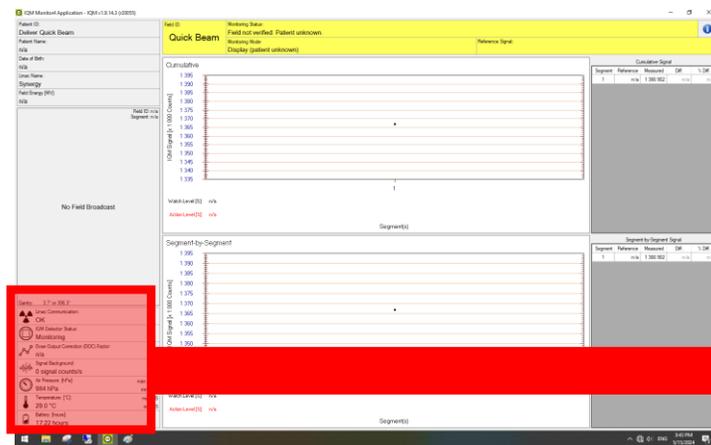
# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

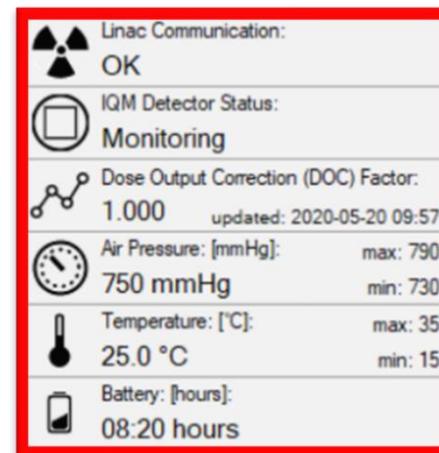
## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ IQM Detector と治療機へのネットワーク接続が自動的に確立されます。
- ✓ IQM Monitor アプリケーションの表示で、ステータスインジケータに黄色またはオレンジ色にハイライトされた項目がないことを確認します。
- ✓ 右図のように、ステータスが色で強調表示されていない場合、すべての接続は準備 完了です。

### IQM Monitor Application



### ステータスインジケータ



# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 2. AOF測定用プランの確認

- ✓ MOSAIQに下記のPatientが登録済みです。

**ID: 07IQM 患者名 (姓,名) : 07IQM, Measurement**

- ✓ 使用するFieldは右表の通りです。

### Dynamic AOF

Field ID, MU
AOF1,
AOF2,
AOF3,
AOF4,
AOF5,
AOF6,
AOF7,
AOF8
AOF9
AOF10
AOF11
AOF12
AOF13
AOF14
AOF15

VMAT, DMLCの場合使用

### Static AOF

Field ID, MU
Y=05, 500MU
Y=075, 350MU
Y=1, 550MU
Y=2, 450MU
Y=3, 650MU
Y=4, 650MU
Y=5, 750MU
Y=6, 850MU
Y=8, 900MU
Y=10, 900MU
Y=12, 900MU
Y=15, 900MU
Y=20, 900MU
Y=25, 650MU
Y=30, 700MU
Y=35, 550MU
Y=40, 650MU

S & S IMRT, conventionalの場合使用

# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

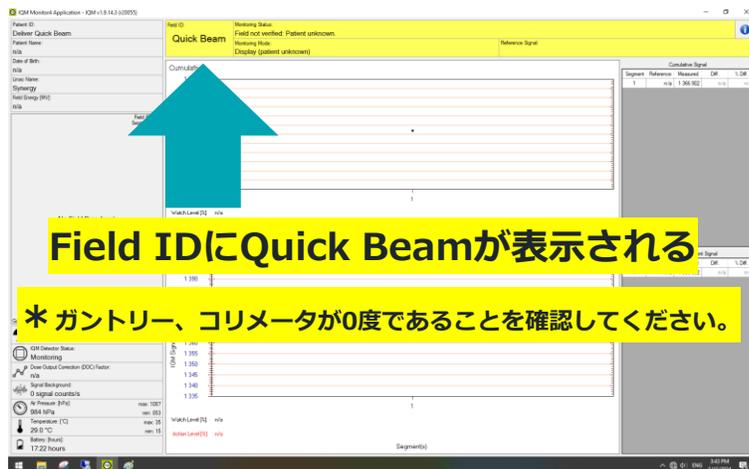
## 3. AOF用プランの測定

✓ 測定する順番は右のExcel\*に従ってください。

① ↓の順番で測定してください。

**AOFの測定の前後に必ずQuick beamにて、  
20x20,200MUを測定してください。**

**\*測定の前後で、出力変動を定量化するためです。**



	A	B	C	D	E	F
1	測定日:	2024/5/16				
2	測定者:	エレクタ				
3	Mosaiqに登録されたPatient ID:	9999942				
4						
5						
6	Dynamic AOF					
7		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF
8	Quick beam, 20x20, 200MU(Start)					
9	Field ID: AOF1					
10	Field ID: AOF2					
11	Field ID: AOF3					
12	Field ID: AOF4					
13	Field ID: AOF5					
14	Field ID: AOF6					
15	Field ID: AOF7					
16	Field ID: AOF8					
17	Field ID: AOF9					
18	Field ID: AOF10					
19	Field ID: AOF11					
20	Field ID: AOF12					
21	Field ID: AOF13					
22	Field ID: AOF14					
23	Field ID: AOF15					
24	Quick beam, 20x20, 200MU(End)					

↓の順番で測定してください。  
3回繰り返して測定します。

# AOF: Area-output factor

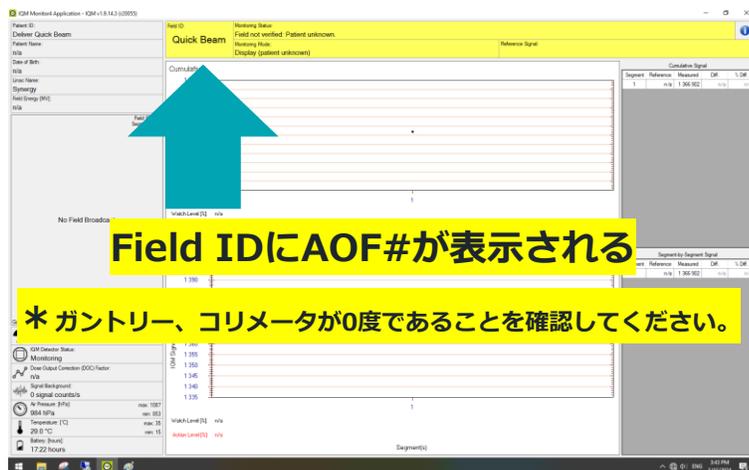
- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 3. AOF用プランの測定

✓ 測定する順番は右のExcel\*に従ってください。

① ↓の順番で測定してください。

MOSAIQからFieldを選択し、AOF1からの順番に照射してください



	A	B	C	D	E	F
1	測定日:	2024/5/16				
2	測定者:	エレクタ				
3	Mosaiqに登録されたPatient ID:	9999942				
4						
5						
6	Dynamic AOF					
7		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF
8	Quick beam, 20x20, 200MU(Start)					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						
52						
53						
54						
55						
56						
57						
58						
59						
60						
61						
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
73						
74						
75						
76						
77						
78						
79						
80						
81						
82						
83						
84						
85						
86						
87						
88						
89						
90						
91						
92						
93						
94						
95						
96						
97						
98						
99						
100						
101						
102						
103						
104						
105						
106						
107						
108						
109						
110						
111						
112						
113						
114						
115						
116						
117						
118						
119						
120						
121						
122						
123						
124						
125						
126						
127						
128						
129						
130						
131						
132						
133						
134						
135						
136						
137						
138						
139						
140						
141						
142						
143						
144						
145						
146						
147						
148						
149						
150						
151						
152						
153						
154						
155						
156						
157						
158						
159						
160						
161						
162						
163						
164						
165						
166						
167						
168						
169						
170						
171						
172						
173						
174						
175						
176						
177						
178						
179						
180						
181						
182						
183						
184						
185						
186						
187						
188						
189						
190						
191						
192						
193						
194						
195						
196						
197						
198						
199						
200						
201						
202						
203						
204						
205						
206						
207						
208						
209						
210						
211						
212						
213						
214						
215						
216						
217						
218						
219						
220						
221						
222						
223						
224						
225						
226						
227						
228						
229						
230						
231						
232						
233						
234						
235						
236						
237						
238						
239						
240						
241						
242						
243						
244						
245						
246						
247						
248						
249						
250						
251						
252						
253						
254						
255						
256						
257						
258						
259						
260						
261						
262						
263						
264						
265						
266						
267						
268						
269						
270						
271						
272						
273						
274						
275						
276						
277						
278						
279						
280						
281						
282						
283						
284						
285						
286						
287						
288						
289						
290						
291						
292						
293						
294						
295						
296						
297						
298						
299						
300						
301						
302						
303						
304						
305						
306						
307						
308						
309						
310						
311						
312						
313						
314						
315						
316						
317						
318						
319						
320						
321						
322						
323						
324						
325						
326						
327						
328						
329						
330						
331						
332						
333						

# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 3. AOF用プランの測定

✓ 測定する順番は右のExcel\*に従ってください。

② ①の測定を同じエネルギーで続けて3回繰り返してください。

### IQM測定チェックシート

\*測定時刻を記録し、チェックシートとしてご使用ください。

Dynamic AOF					
	IMV	IMV	IMV	OFF	OFF
Quick beam, 25x20, 200MU (Start)					
Field ID: AOF1					
Field ID: AOF2					
Field ID: AOF3					
Field ID: AOF4					
Field ID: AOF5					
Field ID: AOF6					
Field ID: AOF7					
Field ID: AOF8					
Field ID: AOF9					
Field ID: AOF10					
Field ID: AOF11					
Field ID: AOF12					
Field ID: AOF13					
Field ID: AOF14					
Field ID: AOF15					
Quick beam, 25x20, 200MU (End)					
Quick beam, 25x20, 200MU (Start)					
Field ID: AOF1					
Field ID: AOF2					
Field ID: AOF3					
Field ID: AOF4					
Field ID: AOF5					
Field ID: AOF6					
Field ID: AOF7					
Field ID: AOF8					
Field ID: AOF9					
Field ID: AOF10					
Field ID: AOF11					
Field ID: AOF12					
Field ID: AOF13					
Field ID: AOF14					
Field ID: AOF15					
Quick beam, 25x20, 200MU (End)					
Quick beam, 25x20, 200MU (Start)					
Field ID: AOF1					
Field ID: AOF2					
Field ID: AOF3					
Field ID: AOF4					
Field ID: AOF5					
Field ID: AOF6					
Field ID: AOF7					
Field ID: AOF8					
Field ID: AOF9					
Field ID: AOF10					
Field ID: AOF11					
Field ID: AOF12					
Field ID: AOF13					
Field ID: AOF14					
Field ID: AOF15					
Quick beam, 25x20, 200MU (End)					

# AOF: Area-output factor

- MOSAIQからAOF測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 4. 測定結果の確認

- ✓ 測定されたIQMのシグナル値が以下の.csvファイルに記録されます。

ファイルパス\* : C:¥IQM\_Data¥Logs¥IQM.Monitor.MachineName.DetectorSN.YYYYMMDD

- ✓ 測定データが記録されていることを確認し、上記ファイルをご提出ください。

\*測定日毎に上記csvファイルが作成されます。

\*MachineNameとDetectorSNは施設毎に異なります。

例 : IQM.Monitor.Versa.999999.20240101

Machine name

Detector SN

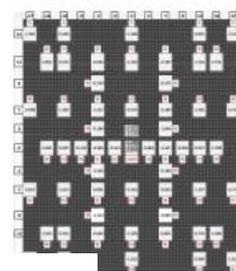
測定日

# High resolution QA Field

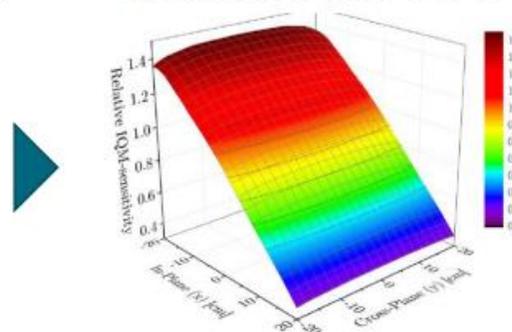
## 概要

- 複数の軸外位置にあるセグメントを使用して、IQM を装着した状態のフルエンスを評価します。

High resolution QA Field



検出器感度をマッピング



## 内容 :

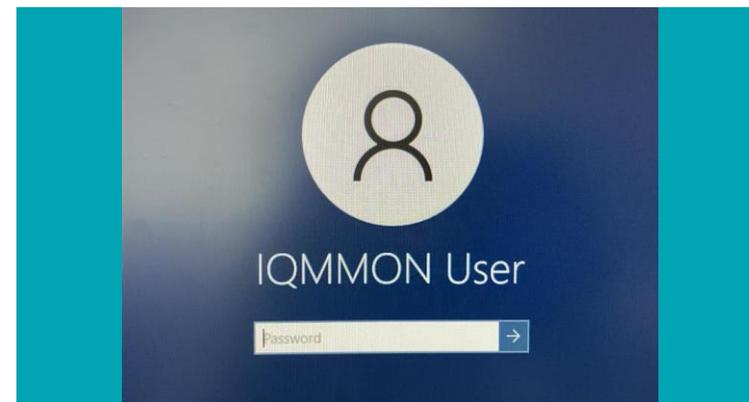
- MOSAIQからHigh resolution QA Field測定用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ IQMのワークステーションを立ち上げ、ログインしてください。  
\* ユーザ名/パスワードが不明な場合は担当にエンジニアにご連絡ください。



- ✓ IQM検出器の電源をONにして、**リニアックに取り付けてください。**



# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ 後方散乱の影響を避けるため、カウチを一番後ろまで引き、カウチの上に何も乗せないでください。
- ✓ ガントリー、コリメータが0度であることを確認してください
- ✓ ウォームアップのため、使用するエネルギー毎に500MUを照射してください
  - リニアックとIQMの両方をウォームアップする目的です。

# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ IQMワークステーションのデスクトップにある下記アイコンをクリックして、IQM Monitor Applicationを立ち上げてください。

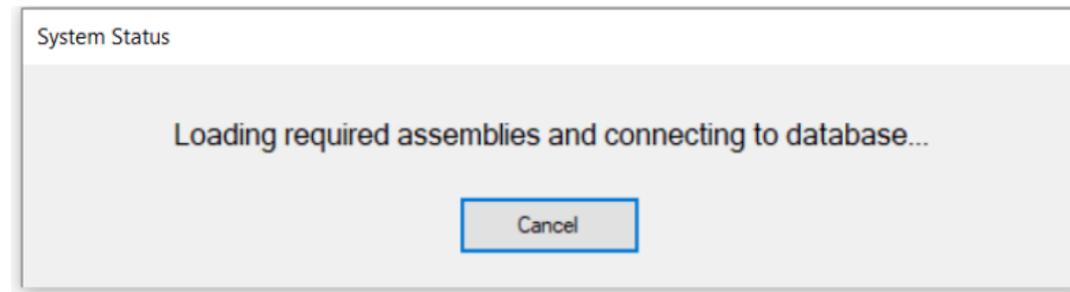


# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ 起動時に、IQMデータベースへの接続が確立されます。

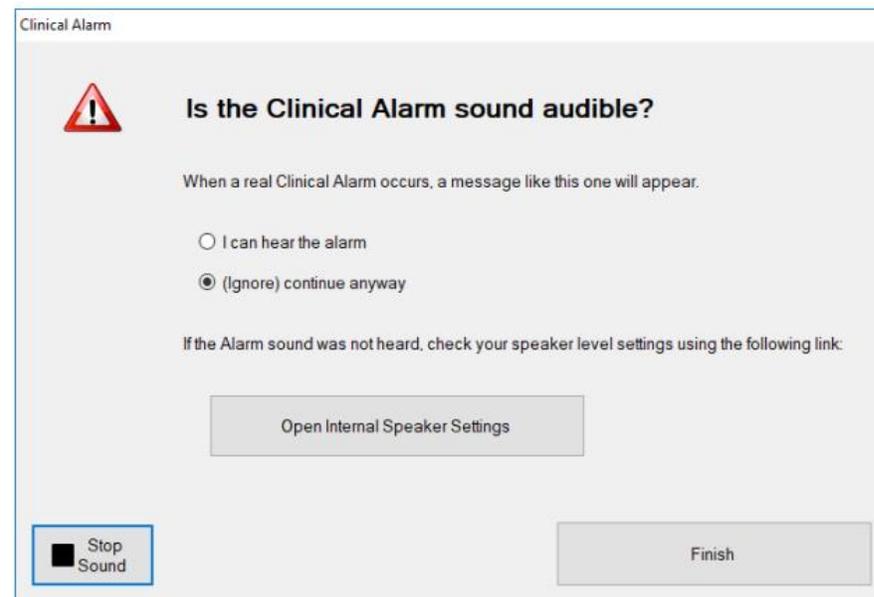
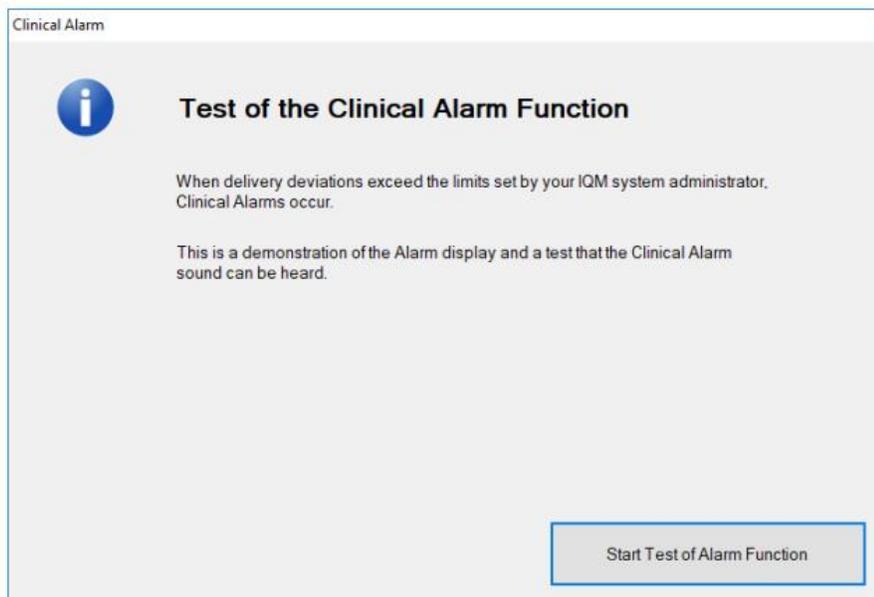


# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ データベース接続に成功したら、'Start Test of Alarm Function' ボタンをクリックし、表示される指示に従ってクリニカルアラームテストを完了します。



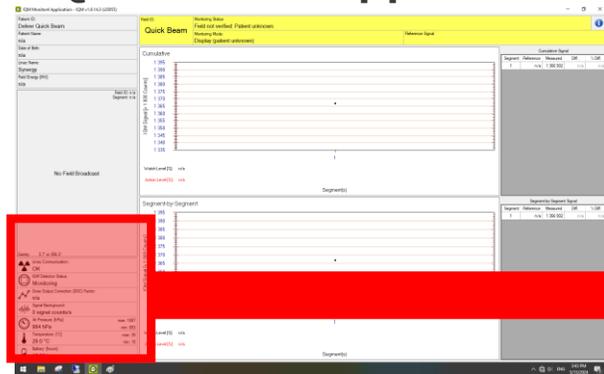
# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 1. 測定準備、ウォームアップ

- ✓ IQM Detector と治療機へのネットワーク接続が自動的に確立されます。
- ✓ IQM Monitor アプリケーションの表示で、ステータスインジケータに黄色またはオレンジ色にハイライトされた項目がないことを確認します。
- ✓ 右図のように、ステータスが色で強調表示されていない場合、すべての接続は準備 完了です。

### IQM Monitor Application



### ステータスインジケータ

	Linac Communication: OK
	IQM Detector Status: Monitoring
	Dose Output Correction (DOC) Factor: 1.000 updated: 2020-05-20 09:57
	Air Pressure: [mmHg]: max: 790 750 mmHg min: 730
	Temperature: [°C]: max: 35 25.0 °C min: 15
	Battery: [hours]: 08:20 hours

# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 2. High resolution QA Field用プランの確認

- ✓ MOSAIQに下記のPatientが登録済みです。

**ID: 07IQM 患者名 (姓,名) : 07IQM, Measurement**

- ✓ 使用するField ID, MU : **AGQA4, 3100MU**

# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

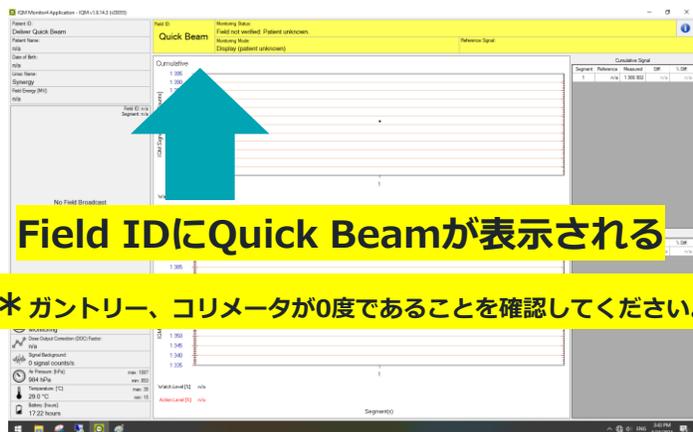
## 3. High resolution QA Field用プランの測定

✓ 測定する順番は右のExcel\*に従ってください。

① ↓の順番で測定してください。

High resolution QA Fieldの測定の前後に必ずQuick beamにて、20x20,200MUを測定してください。

\*測定の前後で、出力変動を定量化するためです。



## IQM測定チェックシート

測定時刻を記録し、チェックシートとしてご使用ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	測定日:							
2	測定者:	XXXXXXXXXX						
3	Mosaiqに登録されたPatient ID:	99999942						
4								
5								
6	QA field test							
7		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF		
8	Quick beam, 20x20, 200MU(Start)	↓	↓	↓	↓	↓		
9	Field ID: AGQA4, 3100MU							
10	Quick beam, 20x20, 200MU(End)	↓	↓	↓	↓	↓		

↓の順番で測定してください。  
2回繰り返して測定します。

# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 3. High resolution QA Field用プランの測定

✓ 測定する順番は右のExcel\*に従ってください。

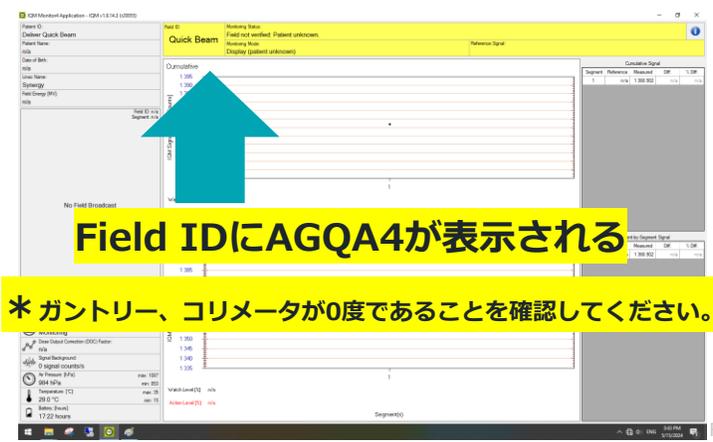
① MOSAIQからField ID: AGQA4を選択し、照射してください

## IQM測定チェックシート

測定時刻を記録し、チェックシートとしてご使用ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	測定日:							
2	測定者:	XXXXXXXXXX						
3	Mosaiqに登録されたPatient ID:	9999942						
4								
5								
6	QA field test							
7		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF		
8	Quick beam, 20x20, 200MU (Start)	↓	↓	↓	↓	↓		
9	Field ID: AGQA4, 3100MU							
10	Quick beam, 20x20, 200MU (End)	↓	↓	↓	↓	↓		

↓の順番で測定してください。  
2回繰り返して測定します。



# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 3. High resolution QA Field用プランの測定

✓ 測定する順番は右のExcel\*に従ってください。

② ①の一連の測定を同じエネルギーで続けて2回繰り返してください。

### IQM測定チェックシート

測定時刻を記録し、チェックシートとしてご使用ください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	測定日：							
2	測定者：	XXXXXXXXXX						
3	Mosaiqに登録されたPatient ID：	9999942						
4								
5								
6	QA field test							
7		4MV	6MV	10MV	6FFF	10FFF		
8	Quick beam, 20x20, 200MU(Start)	↓	↓	↓	↓	↓		
9	Field ID: AGQA4, 3100MU							
10	Quick beam, 20x20, 200MU (End)	↓	↓	↓	↓	↓		
11	Quick beam, 20x20, 200MU(Start)	↓	↓	↓	↓	↓		
12	Field ID: AGQA4, 3100MU							
13	Quick beam, 20x20, 200MU (End)	↓	↓	↓	↓	↓		

↓の順番で測定してください。  
2回繰り返して測定します。

# High resolution QA Field

- MOSAIQからHigh resolution QA Field用プランをクリニカルモードで照射し、IQMで測定します。

## 4. 測定結果の確認

- ✓ 測定されたIQMのシグナル値は以下の.csvファイルを確認してください。

ファイルパス : **C:¥IQM\_Data¥Logs¥IQM.Monitor.MachineName.DetectorSN.YYYYMMDD**

- ✓ 上記ファイルをご提出ください。

\*測定日毎に上記csvファイルが作成されます。

\*MachineNameとDetectorSNは施設毎に異なります。

例 : IQM.Monitor.Versa.999999.20240101

Machine name

Detector SN

測定日

**Hope** for everyone  
dealing with cancer.